



1. 岩城さんのレコードコレクション。「店に置いてあるのは一部ですよ」
2. 入ってすぐの細い通路には、ライブのフライヤーやジャズ関連の雑誌、アンティーク雑誌がたくさん並ぶ
3. アメリカの高級音響機器ブランド「マッキントッシュ」のアンプ。オーディオ好きも納得の音質

1

2

3

ここを拠点にして、有名になったアーティストは多数いる。ジャズ・ハイオリストとして数々の作品を発表し、海外でも演奏する寺井尚子さんは、デビュー当時、毎週演奏していた。ジャズ・シンガー綾戸智恵さんは、スターアイズの30周年記念ライブに出演。愛知県出身のケイコ・リーさんはライブを重ね、10月24・25日の2日間、36周年記念に華を添えた。3人のビッグアーティストは毎年、周年記念に演奏で出演を重ねた。「今でもアーティストから『ライ

ブをしたい』と声をかけてもらえるのは、うれしい限り」と目を細める岩城さん。「若手の登竜門とされたらいいね」と続けた。名古屋に「いい場所がある」と業界に知れ渡り、スターアイズでは毎日ライブが開かれるようになった。「うちはキャパシティが60〜70人。小さいけれど、お客さんがアーティストと同じ目線で鑑賞できる。演奏中の手元もよく見ることができから、楽器を演奏している人にとってはいい勉強になるでしょう。大きなホールにはない魅力があるからこそ、アーティストもお客さんも支持してくれるのだと思います」。

小さなステージならではの魅力がアーティストと客の支持を得る

「1960年代にジャズ喫茶が全国的に流行しました。80年代でも広

大きなホールにはない魅力があるからこそ、アーティストもお客さんも支持してくれているのだと思います。



[巻頭特集]

ジャズ界のトップアーティストが惚れる場所

老舗ジャズライブハウス スターアイズ物語

日泰寺の参道を南に下った街に、ジャズライブハウス「スターアイズ」はある。ジャズがまだ一般的でなかった時代に店を開き、今年、36周年を迎えた。オーナーの岩城正邦さんをたずね、これまでの歴史を聞いた。

近隣でも異彩を放った存在感 長くは続かないと言われた日々

「名古屋に住みたい街は？」というアンケートで、常に上位に名が出る千種区覚王山。「新旧の文化がうまく入り混じり、いい感じに垢抜けましたよ」と笑いながら街の変遷を教えたのは、ジャズライブハウス「スターアイズ」オーナー、岩城正邦さん。

スターアイズは1982年にオープンした。当時の名古屋で、生音のジャズライブを楽しめる場所は珍しく、「異質の存在だった」と冗談交じりに話す。20歳で音響機材に興味を持つと、働きながら地道に買い揃えていく。いまも老舗ミュージックバーが並ぶ大阪の日本橋には、特によく出かけた。洋楽を好んで聴き、30歳の頃、ジャズの世界にすっかり魅了された。

幅広いジャズサウンドを演奏 初心者も足を運びやすい雰囲気

9月下旬のある日、スターアイズでは、トニー・モナコ、小沼ようすけ、ジーン・ジャクソンによるライブがあった。過去にも公演をしているが、開店と同時に客が詰めかけ、1部・2部ともに大盛況だった。ギタリストの小沼さんは、スターアイズのアットホームな雰囲気が好きだといひ、演奏中も時折、笑顔を見せた。11月1日には、ギタリストでウクレレ奏者の西藤ヒロノブさんと二重奏を披露する。

現在、年明けまでのスケジューリングはほぼ埋まっている。「この状態を1日でも長く続けられたら幸せ」と話す岩城さん。77歳の今も毎日店に立ち、客とのコミュニケーションをとる。厨房に入って料理をつくるなど、精力的だ。「ジャズが好きなのはもちろん、店のことも大好きだから続けられるんですよ」と笑った。

開店当初と比べ、今やジャズは愛好家だけが楽しむ音楽ではなくなつた。「わたし好みのジャズを押し付けるつもりはありません。ひと口にジャズと言っても幅広いので、きっと好みの音が見つかるはず。初めてジャズにふれる場としてもスターアイズはおすすめてですよ」。秋の夜、心地よいジャズの生音に酔いしれて過ごしてみたい。



「サクソフォーン奏者のハリー・アレックスがツアー中に出演したラジオ番組で、「スターアイズでのライブは最高だった」と話してくれたこともあつた」とうれしそうに話すオーナーの岩城正邦さん

くは浸透しておらず、どちらかというところ愛好家に支持された『特別な音楽』という印象を持たれていました。だから、『店も長くは続かないだろう』と噂されていたんです」

そんな周囲の声に気落ちしなかった岩城さん。「むしろ、すぐににぎわう店にする自信があった」と言っ。機材に夢中になっていた頃、多くの音楽仲間と出会い、興行に必要なつながりを固めることができたため、不安はなかった。

オープンした年には、ジョージ・ケイプルス・トリオ、その翌年にはアート・ファーマー・ウィズ・ザ・グレート・ジャズ・トリオといったビッグアーティストのライブを開催。特にアート・ファーマー・ウィズ・ザ・グレート・ジャズ・トリオ(ハンク・ジョーンズ(ピアノ)、エディ・ゴメス(ベース)、ジミー・コブ(ドラム))は、岩城さんにとって生涯忘れられないライブとなり、現在も店の中央に写真を掲げている。

information

ジャズライブとお酒と料理の楽しめる店

STAR EYES

千種区菊坂町3-4-1 Gハウスビル1F
TEL 052-763-2636

18:00~24:00※ライブタイム19:30~、21:30~
料金システム / ライブタイムのみライブチャージとカバーチャージ(ひとり500円)が必要(ライブ後はノーチャージ)。ライブチャージは日によって異なる
パertime 22:30~



地下鉄覚王山駅から徒歩5分。緑に覆われたネオンサインが目印